

第2章 道の駅 おんねゆ温泉

臼倉 誠

2.1 道の駅とは

2.1.1 道の駅の機能

全国に1040ヶ所登録されている「道の駅」のニーズとして長距離ドライブや、女性・高齢者のドライバーが増加する中、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して利用できる休憩施設の整備が求められている。また、休憩施設では、地域の文化・名所特産品などを活用し多様なサービスを提供することが望まれている。これらの施設ができることで、地域の核が形成され、道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待される。こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして道の駅をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ休憩施設を「道の駅」と呼ぶ。道の駅は国土交通省の登録が必要であり、24時間利用可能な一定数の駐車スペース、トイレ、情報提供施設を備えた施設といった条件が必要である。

図2-1 道の駅の3つの機能



出所：北の道の駅 HP

2.1.2 スタンプラリー

北海道の道の駅、全114駅で150円で売られているスタンプブックを買い、各地の道の駅でスタンプを押して商品を応募したり、完走を目指したりするスタンプラリーが流行している。これは、1年の内にどれだけ北海道各地を訪れたかの指標になるだけでなく、お店などで提示することでお得な割引や特典などが与えられる。道の駅おんねゆ温泉では、「山の水族館」の入館料が割引になる。他のオホーツク地域の道の駅では、「サロマ湖」でミニソフト1個、「香りの里たきのうえ」でハーブティ1杯サービスなどの割引や特典がある。また、期間内に全駅のスタンプを収集すると全駅完全制覇認定証と全駅完全制覇ステッカーがもらえる。

図2-2 スタンプラリーブック



出所：北の道の駅 HP

以下の表は、オホーツクにある道の駅のスタンプラリーブック持参サービスをまとめたものである。

表 2-1 スタンプラリーブック持参サービス（オホーツク）

駅名	サービス
まるせつぷ	木芸館の木製品が 10%オフで販売になる。
オホーツク紋別	流氷科学センターの一般入場料である 750 円が 600 円に割引され、小中学生は無料となる。
おんねゆ温泉	山の水族館の入館料が割引になる。
香りの里たきのうえ	ハーブティが 1 杯サービスされる。
サロマ湖	ミニソフトが提供される。
はなやか（葉菜野花）小清水	軽食喫茶コーナー「汽車ぱっぱ」のコーヒーが 50 円引きになる。
ぐるっとパノラマ美幌峠	ソフトクリームとあげいもが 50 円引きになる。
メルヘンの丘めまんべつ	アンテナショップ「ほのか」のソフトクリームが 50 円引きになる。
あいおい	クマヤキが 20 円引きになる。
パパスランドさつつる	ソフトクリームが 50 円引きになる。

出所：北の道の駅 HP より筆者作成

2.2 道の駅おんねゆ温泉の概要

2.2.1 場所

国道 39 号線沿いにある道の駅おんねゆ温泉は、大雪観光圏と阿寒・網走・知床観光圏を結ぶ中継地点である。北見市留辺蘂町松山 1 番地 4 に位置し、周辺には、歴史ある「温根湯温泉街」などがある。1960 年から 1970 年代にかけて大きな転換期を迎え工場の閉鎖や、町外移転が余儀なくされ、農業も離農者が相次ぎ、過疎化現象が急速に進んだ結果、一時は 2 万人を超えた人口も減少の一途をたどり、今では 1 万人を切る状態となっている。

現在は、温泉街の活気を取り戻すべく「山の水族館」を道の駅に移転する計画を遂行し、改築をおこなった結果、旅館の宿泊者は 1 割以上の増加を見せた。残された温泉旅館も宿泊者の増加を願っており、道の駅おんねゆ温泉の集客が期待されている。

図 2-3 温根湯温泉街



出所：北海道応援サイト

2.2.2 施設

2.2.2.1 からくりハト時計塔「果夢林」

道の駅のシンボルタワー「果夢林」は世界最大級のハト時計である。「果夢林」には、果てしなく夢が広がる木（林）の町という意味が込められている。先端には平和の鐘を配してあり、夢と希望のタワーとされている。4月中旬から11月上旬まで作動しており、8時から18時の毎正時に作動する。演奏曲は、「おもちゃのシンフォニー」、「森へ行きましょう」、「オリジナル曲（春の曲）」が登録されており、時間ごとに順番に演奏される。

図 2-4 からくりハト時計塔



出所：北の道の駅 HP

2.2.2.2 果夢林の館

地元の特産品を展示・販売する「果夢林ショップ」と、木とのふれあいを大切に子供から大人まで楽しめる木製遊具を設置した「果夢林ワールド」、木工に必要な機械・工具を取り揃え、手軽に木工を体験できる「クラフト体験工房」の3つの部屋で構成されている。「果夢林ショップ」では木製家具や民芸品、グッズなどアイデアあふれる木工クラフトのほか、アイスクリームや銘菓など、道内屈指の種類の特産品を販売している。「果夢林ワールド」では「木の宮殿」をはじめ、大人気の「木の砂場」や「木の釣り堀」、大型らせんすべり台など、子どもだけではなく大人も楽しめる木製遊具を取り揃えている。「クラフト体験工房」では、インストラクターが常駐し、果夢林ショップでキットも販売されているため、初心者でも気軽に体験することができる。

図 2-5 果夢林ワールド



出所：北の道の駅 HP

2.3 周辺施設

2.3.1 山の水族館

2012年7月7日にオープンされた「山の水族館」では淡水魚を集めた全国でも珍しい淡水系の水族館であり、なかでも幻の魚と言われる日本最大の淡水魚イトウが群れをなして泳いでいる。併設する温泉水族館では、世界の珍しい熱帯魚が観察でき、郷土館では留辺蘂町の歴史を学ぶことができる。この山の水族館のコンセプトは、日本一と世界初がある水族館、生き生きした魚が見られる自然を模した展示、温根湯で育つ世界の淡水魚の3つである。

日本最大の淡水魚であるイトウの中でも最大級の大きさである 1 メートル級に育ったイトウが 40 匹も飼育されており、これは、日本で最多の飼育数である。また、山の水族館がある北見市留辺蘂町は日本有数の寒さが厳しい街であり、その寒さを利用して、誰も見たことのない凍った川の下を泳ぐ魚たちの様子を見ることができる。

「滝つぼ水槽」では、水槽の中に滝を作り激流を生むことで、本来どんなに力強く魚が生きているのかを知ることができる。魚は生息しやすい場所や産卵場所を常に見つけており、その習性を利用した「ジャンプ水槽」では、時間によって水量を変化させ、魚の川上りを見ることができる。

冷泉水で育てた魚たちは通常の魚よりも大きく育つということで「温泉」と「冷泉」をほどよくミックスした温泉水を使用していたところ、魚はきれいに早く成長をするようになった。このことから、この地の温泉水を「魔法の温泉水」と名付け、きれいで大きな淡水魚が鑑賞できる水族館となった。

他にも「ふれあいタッチコーナー」ではドクターフィッシュが手の角質を食べにくるのを生で体験できたり、ザリガニやカメなどの川の生き物を間近に見ることができる。

2.3.2 北きつね牧場

道の駅おんねゆ温泉から徒歩圏内にある「北きつね牧場」では、敷地内に張り巡らされた遊歩道を利用して、キツネたちの生態を観察することができる。敷地内にはおよそ 100 匹のキツネが放し飼いされ、野生に近い状態で観察することができる。原則として観光客は近寄ってくるキツネには触れることはできないが、キツネを間近に感じることができる。

併設されている売店では、オリジナル商品が数多くそろえられ、キツネのぬいぐるみやキーホルダーが人気である。

図 2-6 イトウの群れ



出所：北の大地の水族館 HP

図 2-7 ドクターフィッシュ



出所：北の大地の水族館 HP

図 2-8 キツネ



出所：るるぶ.com

参照 HP

- ・ 北の道の駅 HP

<http://www.hokkaido-michinoeki.jp/index.html>

- ・ 道の駅 おんねゆ温泉

<http://onneyu-aq.com/facility3>

- ・ 北見市 HP

<http://www.city.kitami.lg.jp/>

- ・ 北海道応援サイト

<http://ouendaichi20092.web.fc2.com/doutou/doutouhtml/onneyuonsen.html>

- ・ 北の大地の水族館 HP

<http://onneyu-aq.com/>

- ・ るるぶ.com

<http://www.rurubu.com/>